

岩手県沿岸から得られた稀種アマクサウオ *Liparis bikunin* の記録

| | |
|-------|---------------|
| 誌名 | 魚類學雜誌 |
| ISSN | 00215090 |
| 著者名 | 甲斐,嘉晃 野田,勉 |
| 発行元 | 日本魚學振興會 |
| 巻/号 | 64巻1号 |
| 掲載ページ | p. 55-57 |
| 発行年月 | 2017年4月 |

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



岩手県沿岸から得られた稀種アマクサウオ *Liparis bikunin* の記録

甲斐嘉晃¹・野田 勉²

¹ 〒 625-0086 京都府舞鶴市長浜 京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所

² 〒 853-0508 長崎県五島市玉之浦町布浦 122-7 国立研究開発法人水産研究・教育機構西海区水産研究所五島庁舎

(2016年12月21日受付；2017年1月17日改訂；2017年1月18日受理)

キーワード：クサウオ科, クサウオ属, 南限記録, 射出骨, 記載

魚類学雑誌
Japanese Journal of
Ichthyology

© The Ichthyological Society of Japan 2017

Yoshiaki Kai* and Tsutomu Noda. 2017. A rare snailfish, *Liparis bikunin*, collected from Iwate, Japan. Japan. J. Ichthyol., 64(1): 55-57.

Abstract A single mature female specimen of the rare snailfish *Liparis bikunin* Matsubara and Iwai, 1954 was collected from a scallop aquaculture ground in Miyako, Iwate, Japan. The specimen, representing the southernmost record and second overall of the species, is described in detail, including the proximal pectoral radials. The species has been incorrectly characterized as having the anus closer to the anal-fin origin than to the pelvic disk in previous descriptions.

*Corresponding author: Maizuru Fisheries Research Station, Field Science Education and Research Center, Kyoto University, Nagahama, Maizuru, Kyoto 625-0086, Japan (e-mail: mebaru@kais.kyoto-u.ac.jp)

クサウオ科魚類は、太平洋と大西洋の温帯から寒帯域で爆発的に種分化を遂げたグループで、水深数メートルの潮間帯から7,000 mを超える超深海にまで生息する (Chernova et al., 2004). 日本からは疑問種をあわせると、現在までに52種が知られている (中坊・甲斐, 2013; Orr et al., 2015). しかし、いくつかの種は原記載以来ほとんど報告がなく、十分な形態的および生態的知見が得られていない (Sakurai and Shinohara, 2008). 今回、岩手県宮古市の太平洋沿岸から得られたクサウオ科魚類を観察したところ、クサウオ属 *Liparis* Scopoli, 1777 のアマクサウオ *Liparis bikunin* Matsubara and Iwai, 1954 に同定された。本種は北海道釧路市の浅海域から採集された15個体をもとに新種として記載されて以来、これまで報告がなかった。そこで、今回得られた標本を本種の南限記録として報告するとともに、これまで知られていなかった生鮮時の色彩およびクサウオ科魚類の分類に有効であると言われる胸鰭の射出

骨の形態 (Chernova et al., 2004; Orr and Maslenikov, 2007) について記載する。

計数および計測方法は Andriashev and Stein (1998) に、頭部感覚孔の配列に関しては Stein et al. (2001) に従った。脊椎骨数、背鰭軟条数、臀鰭軟条数は軟X線撮影を行って計数した。射出骨の観察は、右側の肩帯にアリザリンレッドによる染色を施して行った。本研究に用いた標本はすべて京都大学の魚類標本コレクション (FAKU) に保管されている。

Liparis bikunin Matsubara and Iwai, 1954
アマクサウオ
(Fig. 1)

記載標本 FAKU 132515, 標準体長 (SL) 45.5 mm, 雌, 岩手県宮古市日出島, 2010年5月25日。

識別的特徴 本種は鼻孔が2対で後鼻孔が頭部側線孔よりも小さく目立たないこと、鰓孔下端が

胸鰭第3-6軟条の高さに達すること、背鰭軟条数が32-35、臀鰭軟条数が25-28、胸鰭軟条数が31-35の範囲にあることで、同属他種から区別される (Matsubara and Iwai, 1954; Kido, 1988; 本研究)。

記載 背鰭軟条数は33、臀鰭軟条数は26、胸鰭軟条数は32、脊椎骨数(腹椎+尾椎)は10+28、幽門垂数は16。

頭長は26.5% SL。体はやや太く、体幅は13.3% SLで、肛門より後半は側扁する。体表には骨質状の小突起は見られない。眼は小さく、眼径は4.9% SL、両眼間隔は7.8% SL。口はほぼ水平に開き、上顎と下顎はほぼ同長。上顎長は9.8% SLで、その後端は眼の前縁を通る垂線に達する。上顎と下顎には3葉の歯が並び、歯帯を形成する。鼻孔は2対あり、前鼻孔は大きく目立つが、後鼻孔は頭部側線孔よりも小さく目立たない。頭部感覚孔の配列は2-6-7-2(吻部に2個、上顎から眼の後方にかけて6個、下顎から頬にかけて7個、鰓孔上方に2個)。鰓孔はやや広く7.4% SLで、その下端は胸鰭第5軟条の基部に達する。擬鰓がある。背鰭には欠刻がない。背鰭起部は腹吸盤後端の直上にあり、背鰭前長は33.1% SL。尾鰭長は17.8% SLで、尾鰭は截形で、背鰭後端と臀鰭後端とわずかに連続する(尾鰭長の約10%)。胸鰭には欠刻があり、上葉は17.8% SL、下葉は12.0% SL。腹吸盤はやや大きく、11.6% SL。胸鰭の射出骨は4個で、上から3個は互いに接近し、大きな欠刻がある(Fig. 1B)。最下部のものには欠刻はなく、長方形に近い。

色彩 生鮮時、頭部は褐色で、体は淡褐色。背鰭と臀鰭は褐色。尾鰭と胸鰭は淡褐色で不定形の褐色帯がある(Fig. 1A)。腹部と腹吸盤は白色。70%エタノール保存下では、体はほぼ一様に淡褐

色で、背鰭と臀鰭のみ褐色。尾鰭と胸鰭には褐色帯が残る。

分布 北海道釧路市および岩手県宮古市沿岸 (Matsubara and Iwai, 1954; Kido, 1988; 本研究)。

備考 本標本は鼻孔が2対あること、擬鰓をもつこと、腹吸盤をもつこと、射出骨数が4で、そのうち上から3個については凹みがあること、胸鰭軟条数が臀鰭軟条数よりも多いことなどで、クサウオ属に該当する (Kido, 1988; Chernova, 2008)。さらに、後鼻孔が頭部側線孔よりも小さく目立たないこと、鰓孔下端が胸鰭第3-6軟条の高さに達すること、背鰭軟条数が32-35、臀鰭軟条数が25-28、胸鰭軟条数が31-35の範囲にあることで、アマクサウオ *L. bikunin* のホロタイプ (Fig. 2) およびパラタイプの特徴と一致した (Matsubara and Iwai, 1954; Kido, 1988; 本研究)。日本産の本属魚類では、本種とカンテンビクニン *Liparis frenatus* (Gilbert and Burke, 1912) は、鰓孔下端が胸鰭第3軟条よりも下に位置すること、背鰭軟条数が37以下、臀鰭軟条数が31以下であることで類似する (中坊・甲斐, 2013)。しかし、カンテンビクニンには、後鼻孔に突起がある (アマクサウオにはない) ことで明瞭に区別できる (中坊・甲斐, 2013; 本研究)。なお、Kido (1988) は、本種の肛門が腹吸盤後端よりも臀鰭起部に近いとしており、Chernova (2008) も本種の標本を観察しないままそれに従った。しかし、本研究で *L. bikunin* のホロタイプを確認したところ、腹吸盤から肛門までの距離 (3.3 mm) は臀鰭起部から肛門までの距離 (4.8 mm) よりも短いことがわかった。今回、新たに得られた標本でも、そのようになっており、肛門の位置も考慮に入れてクサウオ属内に亜属を設定した Chernova (2008) の分類は、再検討の余地がある。



Fig. 1. Fresh condition of *Liparis bikunin* (FAKU 132515, 45.5 mm SL), collected from Iwate, northern Japan (A). Lateral view of right pectoral girdle (outer side) (B). s: scapula, r: proximal radials, c: coracoid.

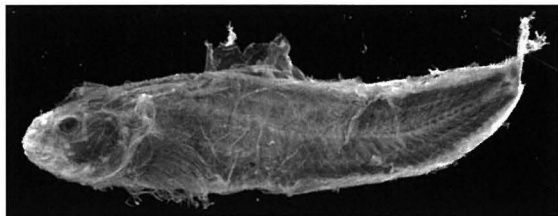


Fig. 2. Holotype of *Liparis bikunin*, FAKU 13318, 50.7 mm SL.

今回、岩手県から得られた標本は、ホタテ養殖の貝殻の間隙から採集された。また、直径約0.8 mmの成熟卵を多数もっており、岩手県における本種の産卵時期は5月頃である可能性が高いと考えられる。

比較標本 アマクサウオ *Liparis bikunin* : FAKU 13318, 50.7 mm SL, ホロタイプ, 北海道釧路市; FAKU 13305–13307, 13311, 55.0–68.7 mm SL, パラタイプ, 北海道釧路市。カンテンビクニン *Liparis frenatus* : FAKU 13295, 13308, 63.2–66.9 mm SL, 北海道釧路市。

謝 辞

標本の採集には竹谷紀幸氏および伊藤隆司氏に、標本の観察には田城文人博士 (FAKU) に多大なるご協力を得た。ここに謝意を表す。

引用文献

Andriashev, A. P. and D. L. Stein. 1998. Review of the snailfish genus *Careproctus* (Liparidae, Scorpaeniformes) in Antarctic and adjacent waters. *Contrib. Sci. (Nat. Hist. Mus. Los Angeles County)*, (470): 1–63.

Chernova, N. V. 2008. Systematics and phylogeny of fish of the genus *Liparis* (Liparidae, Scorpaeniformes). *J.*

Ichthyol., 48: 831–852.

Chernova, N. V., D. L. Stein and A. P. Andriashev. 2004. Family Liparidae Scopoli 1777 – snailfishes. *Cal. Acad. Sci. Ann. Checklists Fish.*, (31): 1–72.

Gilbert, C. H. and C. V. Burke. 1912. New cyclogasterid fishes from Japan. *Proc. US Natl. Mus.*, 42: 351–380, pls. 41–48.

Kido, K. 1988. Phylogeny of the family Liparididae, with the taxonomy of the species found around Japan. *Mem. Fac. Fish. Hokkaido Univ.*, 35: 125–256.

Matsubara, K. and T. Iwai. 1954. Some remarks on the family Liparidae with descriptions of three new species and two interesting ones of the genus *Liparis*. *Rep. Fac. Fish. Pref. Univ. Mie*, 1: 425–441.

中坊徹次・甲斐嘉晃. 2013. クサウオ科 Liparidae. 中坊徹次 (編), pp. 1205–1218, 2072–2076. 日本産魚類検索 全種の同定. 第三版. 東海大学出版会, 秦野.

Orr, J. W., Y. Kai and T. Nakabo. 2015. Snailfishes of the *Careproctus rastrinus* complex (Liparidae): redescriptions of seven species in the North Pacific Ocean region, with the description of a new species from the Beaufort Sea. *Zootaxa*, 4018: 301–348.

Orr, J. W. and K. P. Maslenikov. 2007. Two new variegated snailfishes of the genus *Careproctus* (Teleostei: Scorpaeniformes: Liparidae) from the Aleutian Islands, Alaska. *Copeia*, 2007: 699–710.

Sakurai, H. and G. Shinohara. 2008. *Careproctus rotundifrons*, a new snailfish (Scorpaeniformes: Liparidae) from Japan. *Bull. Natl. Mus. Nat. Sci., Ser. A, Suppl.* 2: 39–45.

Scopoli, J. A. 1777. *Introductio ad historiam naturalem, sistens genera lapidum, plantarum et animalium hactenus detecta, characteribus essentialibus donata, in tribus divisa, subinde ad leges naturae*. Pragae, Wolfgangum Gerle. 506 pp.

Stein, D.L., N.V. Chernova and A. P. Andriashev. 2001. Snailfishes (Pisces: Liparidae) of Australia, including descriptions of thirty new species. *Rec. Aust. Mus.*, 53: 341–406.